

第1回 いじめ未然防止・対策委員会 議事録

日時：令和2年8月5日（水）

10：00～12：00

場所：校長室

出席者 田中 敦（弁護士）、加藤 美恵（公認心理師）、柴田真由弓（保護者代表）、
安藤 和昭（校長）【委員長】、吉田 益穂（教頭）、安田 貴彦（生徒指導主事）、
溝口美智代（1年副主任）、牛丸美津子（2年副主任）、日比野 聡（3年副主任）
近藤 浩美（養護教諭）

欠席者 横地 玲子（地域代表）、大嶋 美香（保護者代表）、小島 貴宏（教育相談係）

1 開会の挨拶（学校長：委員長）

本来、新学期早々に実施すべき会議であったが、コロナの影響で2度延期となり、本日の開催となった。7月23日に本校にてPCR検査を行ったが、それから2週間が経ち、一区切りついた。本日が第1回目の会議となるので、本校の状況を理解していただき、忌憚のないご意見をお願いしたい。

2 委嘱

いじめ未然防止・対策委員の委嘱を行った。

3 自己紹介

4 会議の概要（協議事項）

（1）組織の説明

岐阜県立瑞浪高等学校いじめ未然防止・対策委員会設置要綱について、学校より説明した。県の指導に基づき、下線部のところを改正した。さらに任期及び守秘義務について確認した。質疑応答の後、承認された。（資料1）

（2）取組概要

今年度のいじめ防止基本方針を説明し、質疑応答の後、承認された（資料2）。その中で、特に本校のいじめ防止プログラムの内容説明を詳細に行った。今年度はコロナの影響で行事が中止となったものがあり、生徒間の人間関係づくりに影響が出ているように感じる。いじめ発生時の事案対応マニュアルに関しても説明し、その際の協力を要請した。今年度すでにいじめアンケートを6月に実施し、2件について生徒指導委員会に諮り、今後の対応に関して協議した。

(3) 昨年度報告

- ・いじめ認知件数 19 件（内 15 件解消、4 件解消に向けて取り組み中）

内訳：1 年男子 0（-4）件 1 年女子 10（+4）件
2 年男子 0（-1）件 2 年女子 2（-7）件
3 年男子 2（-7）件 3 年女子 5（+1）件 （カッコ内は一昨年度比較）

- ・いじめの態様

| | |
|------------------------------------|---------|
| ①冷やかしからかい、悪口や脅し文句 | 12（-2）件 |
| ②仲間外れや集団による無視 | 5（-1）件 |
| ③軽くぶつかる、遊ぶ感じで叩いたり蹴るなど | 0（-3）件 |
| ④ひどくぶつかる、叩いたり蹴るなど | 0（-7）件 |
| ⑤金品をたかられるなど | 0（±0）件 |
| ⑥金品を隠す、盗む、物を壊す、捨てるなど | 2（-1）件 |
| ⑦嫌なこと、恥ずかしいこと、危険なことなどを無理にさせられるなど | 0（-4）件 |
| ⑧パソコンや携帯電話で悪口を書かれる、恥ずかしい写真を載せられるなど | 3（-4）件 |
| ⑨その他 | 5（+1）件 |

(4) 本校の現状報告

- ・30 日以上の不登校については、1 年生 2 名、2 年生 1 名となっている。コロナの影響で行事が中止となり、クラスでの仲間づくりがうまくできないことも要因と考えられる。また 1 年生での転学者が 2 名出ている。

- ・今年度着任したが、マスク着用のため、表情がよくわからないし、顔も覚えられないでいる。三者懇談でいじめの有無に関して聞いても、全くないと言っている。本当なのかどうかは分からないので、注意してみたい。

- ・生徒と教員との距離が近く、生徒がため口で馴れ馴れしい言葉づかいをすることがある。今後進路に向けて活動している時期なので、大切な場面で思慮の足りない言動がでないか心配である。

- ・不登校生徒には、目標を定めることができず、保護者との思いが不一致で進路変更を考えている生徒がいる。

- ・行事がなくなり、仲間づくりができていない。コミュニケーションがうまくとれず、友達とトラブルになることもある。人の迷惑になる言動をとる生徒がいるため、日常の生徒の行動を注意深くみていかないといけない。

- ・休校期間が長かった影響もあり、県の指導で心のアンケートをすでに 5 回実施し、悩みやストレスを感じていないか、スクールカウンセラーに相談したいかを定期的に確認している。

- ・入学式のあと、休校となったので、よいスタートが切なかった。時間がありすぎて、不安が増強してしまった。新しい環境に適応する力の低い生徒が少なくない。行事がない中で、

頑張ろうとしている生徒の姿もある。

- ・身体的に不自由な生徒がいるため、全体に対して周りへの配慮を心掛けるように指導している。

(5) 質疑応答／指導・助言

- ・文化祭バザーを通して、子どもたちの様子を感じ取っていたが、今年度は中止となり、とても残念である。さらに受験についても不安が募るばかりである。経験上、不登校生徒の気持ちがよくわかるので、手遅れとならないよう、早めの対応をお願いしたい。

- ・中学校と違い、高校での不登校は原因が複雑化している。原因を追求しすぎず、早めの対応で、生徒への支援をお願いしたい。

- ・いじめを認知できないことの方が危ないので、生徒の出すサインをとらえてもらいたい。

- ・クレペリン検査や i-check 検査の結果を活用し、生徒を見守っていただきたい。

5 その他

第2回いじめ未然防止・対策委員会については、年度末の令和3年2月16日火曜日を予定している。

6 委員長挨拶

コロナで学校運営が例年と異なり、生徒の不安も増している。一方、授業時数の確保で教員に時間的余裕がなくなる心配もある。顔をあわせられない部分を補う形で、アンケートを活用し、いじめの見逃しが無いように努めていきたい。しかし教師としてはできる限り、生徒と顔をあわせたり、声をかけたりする時間を取っていきたい。学校と家庭で情報を共有し、車の両輪として歩んでいきたいので、今後とも至らぬ点や行き届かない点については、ご指導ご助言をいただくとともに、外部の力を活用しながら、いじめを未然に防止するよう努めていく。

<添付資料>

資料1 岐阜県立瑞浪高等学校 いじめ未然防止・対策委員会設置要綱

資料2 岐阜県立瑞浪高等学校いじめ防止基本方針

資料3 昨年度報告

資料4 人権アンケート（昨年度のいじめアンケート）

資料5 いじめに関するアンケート（スマホを利用したアンケート）